

キャラクター名	プレイヤー名
ランディ・ジェラード	

種族	ハイマン	種族特徴	デジャヴ、魔法の申し子、暗視		
生まれ	学者	性別	♂	年齢	29
冒険者Lv	7	経歴	身体のどこかに刺青がある		
経験点	170		誰かを救ったことがある 家族から探されている		

技	7	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	9	2		18	3				
体	5	敏捷度	6			13	2	コンジャラー	3		
		筋力	4	1		10	1	プリースト/転・ヒー	2		
		生命力	6	3		14	2	セージ	5		
心	15	知力	4	7		26 + 1	4				
		精神力	3	3		21	3				

戦闘特技				
鋭い目	2120 p			p
魔法誘導	223 p			p
魔法拡大/数	226 p			p
魔法拡大/確実化	226 p			p
武器習熟/スタッフ	221 p			p
	p			p
	p			p
	p			p
	p			p
	p			p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドレイク語	○	
汎用蛮族語	○	○
魔神語	○	
魔法文明語	○	○
妖魔語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術				
パークメイ				

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク			
鎧	クロスアーマー	筋力	1	回避力	2
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能		合計値	0	2	

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ダガー (魔法の発動体)	1H	3		2d+	0	⑩	0	3									
マナスタッフ	2H	3		2d+	0	⑫	1	13									
マジテックボックス 1日に1度、簡易的な小屋を作成できます。				2d+	0		1										
世界樹の枝 <small>1日1回、魔法の威力を上げる。</small>	1H	1		2d+	0	⑫	1	0									
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	18 m	54 m	2d+	0	2
					37

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	7	12			
操霊魔法	3	8			
深智魔法	3	12			
神聖魔法	2	7			

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP	
2d+	11	2d+	0	59	
		2d+	9	2d+	10

装備品	説明
頭 とんがり帽子	魔物知識判定に+1のボーナス修正を得ます。
耳 勇者の証：心	
顔 黒の眼帯	戦闘中に敵の視線を回避しやすくなります。
首 聖印	
背中 インテリアマルサック	魔法文明語を習得している場合、探索、魔物知識、危機感値、畏れ判定に+1します。
右手 知性の指輪	知力値を+1します。また、「博学」と言われることで+1のボーナス修正を得ます。その他、この指輪は知力値に+1のボーナス修正を得ます。
腰 血晶石の腹巻	戦闘中に敵のHPを回復し、その回復量は敵のHP値に比例して減少します。
足 韋駄天ブーツ	「全力移動」の移動距離が15m、「通常移動」の移動距離が5m伸びます。
その他ウエポンホルダー	武器や盾の重量を軽減し、それを戦闘中の移動動作で背中に取り付けたり、背中から取り出したりできます。

装備品	説明
左手 知性の指輪	知力値を+1します。また、「博学」と言われることで+1のボーナス修正を得ます。その他、この指輪は知力値に+1のボーナス修正を得ます。

その他メモ	自動失敗 チェック
ランディ・ジェラードは、人間を父、ハイマンを母にもち、自身もまたハイマンである。	□□□□⑤
その証に、背中には大きな刻印のようなものが刻まれている。	□□□□⑩
ランディは家族3人でアスカルで暮らしていたが、母が他界する際、家を飛び出し冒険者となる。	□□□□⑮
その後、家を出たときに持ち出した母の魔道指図書を手元にルキスラで十数年修業を積む。	□□□□⑳
そして依頼を受けラスカルに赴き、流されるままアスカルの冒険者の宿にて冒険者登録をし、再びラスカルでの生活を始めることになる。	□□□□㉑
実家がいった場所には帰って見たが、もぬけの殻。	□□□□㉒
整理はされているが、床に積みもったホコリから放置されてから数年経っていることがわかる。	□□□□㉓
少し感傷的な気持ちになりながらもランディは掃除をし、この家に住みつくことにした。	□□□□㉔
母が使っていた研究室は現在彼の研究室になっている。少々マッドな感じに改装されているがバレなきゃ問題ないだろう。そう考えるランディであった。	□□□□㉕

